



平成26年 第4回（12月）定例会 議会報告 一般質問の質問と答弁

～ 詳細は、遠藤みつひろ ホームページをご参照ください ～

# ● 認知症ケア施策 他課との連携を！ ●

地域包括ケアシステムの構築の中で、認知症の方本人と介護する家族また地域での支え合いは、今後さらに重要な課題となります。地域を廻っても、認知症になってしまった方へ、とてもひどい言い方をする人も目にします。

地域での認知症への理解はまだまだ遅れていると感じます。

このことから、認知症を正しく理解する最初の段階である、認知症サポーター養成講座をもっともっと推進していく必要があると強く感じます。

今回は、よく「他課との連携をしていく」との答弁をいただきますが、みえてこない部分も多いので、あえて関連する部署へ質問します。

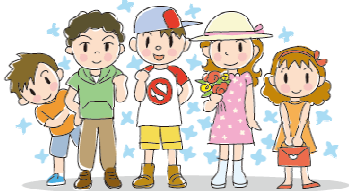


©KOMEITO

## 教育委員会へ

授業の一環で認知症講座を開催できないかと以前から訴えているがどう検討したのか。

答弁：校長会議、教頭会議において、各学校に講座の実施をお願いいたしました。実施を期待しているところです。



## 産業振興課へ

商店、企業に協力をいただき、見守りネットワーク構築の推進をするため、まずは講座開催の呼びかけができないか。

答弁：講座の開催などは商工会に働きかけを考えていきます。

今後も関係機関との連携を密に図りながら、重要な課題と捉えていきます。



# ● 地域見守りネットワークの構築を早急に！ ●

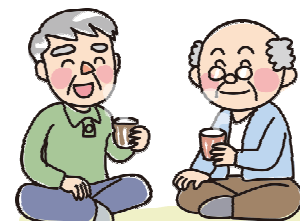
## 長寿はつらつ課へ

今まで様々訴えてきたので、今後の具体的な施策についてと、以前から認知症の本人と介護者が一緒に気軽に集える場として「オレンジカフェ」いわゆる「認知症カフェ」の実施はどうか。

地域見守りネットワークの構築が早急に必要と感じます、ネットワークは徘徊認知症の方に限ったことではなく、障がい者や子ども、そして防犯にもつながっていくものと考えます。

答弁：「徘徊模擬訓練」や、「認知症カフェ」などにつきましても実施していきます。

中学生や高齢者の方をはじめ、商工会、商店会の皆さまには、是非見守りネットワークの構築にご協力いただき、安心して暮らせるまち創りに取り組んでまいりたいと考えております。



注目!

市民相談はお気軽に

遠藤 みつひろ

お問合せ

朝霞市幸町 2-2-27 ☺ 090-6545-3849

TEL&FAX 048-461-6669

メール endou-soudan@i.softbank.jp

http://www.komei.or.jp/km/asaka-endou-mame/



# 高齢者と障がい者共生効果で支援を!

認知症高齢者と障がい児・者との交流を増やし、支援につなげられないか障害福祉課に伺います。

認知症の高齢者が子どもと触れ合うことで、症状の進行が緩やかになり、知的障がいの青年が自分の意思で、高齢者や子どもたちの世話を買って出るなど、高齢者と障がい者と日常的に接する中で、共生効果が生まれる施設があります。また、精神障がいがあっても、このような場で、ボランティアや雇用につなげていくことも考えられるのではないのでしょうか。

答弁：認知症などの方と障がいのある方との交流の機会を増やし、認知症ケアにつながるような取り組みにつきまして、関係する施設などに働きかけを行なってまいりたい



てもつなごう。



# 地産地消の健康メニューでまちづくりを!

減塩などで「健康な食事」を認定してはどうかと、以前質問しました。都市農業で頑張っておられる生産者の方々に応援する意味も含め、地産地消の観点から地元の野菜を使って健康メニューを考えて、地域活性化につなげるのはどうでしょうか。

「健康」というテーマの下、健康普及員さんが普及啓発し多くの方が賛同くださり、農家の生産者さんが安全でおいしい野菜を作ってください。そして、飲食店さんへ管理栄養士さんが指導し、できた健康メニューを求めるお客さんが多く集う。これはまちづくりだと思うのですがいかがでしょうか。

答弁：将来的には「健康な食事」として認定を受けた「健康メニュー」を販売する市内飲食店に、認証マークを交付することや商工会のホームページなどで、ご紹介することで、多くの市民のみなさまに関心をもっていただければ、飲食店を利用する方も増え、より一層地域の活性化が図られるものと考えております。



©KOMEITO

# 衆議院選完勝!!

9小選挙区完勝、過去最多の35議席  
比例区北関東ブロック3議席死守!

